

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

#5

03co

In re PATENT APPLICATION of
Inventor(s) Naoki KAYAHARA

Appln. No.: 09 | 821,328
Series ↑ | ↑ Serial No.
Code

Group Art Unit: Unassigned

Filed: May 29, 2001

Examiner: Unknown

Title: **RETRIEVING METHOD, RETRIEVING SYSTEM,
RETRIEVING PROGRAM, RETRIEVAL OBJECTIVE MAP
GENERATING METHOD, RETRIEVAL OBJECTIVE MAP
GENERATING SYSTEM, IMAGE RETRIEVING METHOD,
IMAGE RETRIEVING SYSTEM, IMAGE RETRIEVING
PROGRAM, IMAGE RETRIEVAL DATA, IMAGE MAP
GENERATING METHOD AND IMAGE MAP GENERATING
SYSTEM**

Atty. Dkt. P 58205.250558 | SEC-US-03/BC
M# | Client Ref

Date: July 27, 2001

**SUBMISSION OF PRIORITY
DOCUMENT IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF RULE 55**

Hon. Asst Commissioner of Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Please accept the enclosed certified copy(ies) of the respective foreign application(s) listed below for which Benefit under 35 U.S.C. 119/365 has been previously claimed in the subject application and if not is hereby claimed.

<u>Application No.</u>	<u>Country of Origin</u>	<u>Filed</u>
2000-092,508	Japan	3-29-2000
2000-092,509	Japan	3-29-2000
2000-401,680	Japan	12-28-2000

Respectfully submitted,

Pillsbury Winthrop LLP
Intellectual Property Group

725 So. Figueroa Street
Suite 2800
Los Angeles, CA 90017-5406
Tel: (213) 488-7100
Atty/Sec: RRW/sjb

By Atty: Eric S. Chen

Reg. No. 43,542

Sig: 

Fax: (213) 629-1033
Tel: (213) 488-7151



日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 3月29日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-092508

出 願 人

Applicant (s):

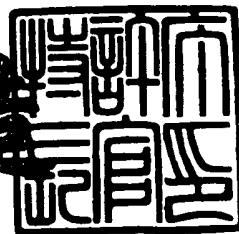
セイコーエプソン株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3031049

【書類名】 特許願

【整理番号】 J0078781

【提出日】 平成12年 3月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

 【氏名】 萱原 直樹

【特許出願人】

 【識別番号】 000002369

 【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

 【代表者】 安川 英昭

【代理人】

 【識別番号】 100093388

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鈴木 喜三郎

 【連絡先】 0 2 6 6 - 5 2 - 3 1 3 9

【選任した代理人】

 【識別番号】 100095728

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 上柳 雅誉

【選任した代理人】

 【識別番号】 100107261

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 須澤 修

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 013044

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9711684

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、
検索対象マップ作成方法及び検索対象マップ作成装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 与えられた検索語をもとに、複数の検索対象のなかからその
検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法であって、

検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じ
て仮想空間上に配置した表現語マップを記憶しておくとともに、前記複数の検索
対象を記憶しておき、

前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応付けられた表現語又は前記
各検索対象に含まれる表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置
算出ステップと、前記第 1 の位置算出ステップで算出した位置に基づいて前記各
検索対象を前記仮想空間上に配置した検索対象マップを生成する検索対象マップ
生成ステップと、前記表現語マップを参照して前記検索語の前記仮想空間におけ
る位置を算出する第 2 の位置算出ステップと、前記検索対象マップを参照して前
記第 2 の位置算出ステップで算出した位置に基づき前記複数の検索対象のなかか
ら前記検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を索出する検索対象索出
ステップとを含むことを特徴とする検索方法。

【請求項 2】 請求項 1 において、

前記検索対象索出ステップは、前記検索対象マップを参照して、前記仮想空間
において前記第 2 の位置算出ステップで算出した位置との距離が小さい位置の検
索対象から順に索出することを特徴とする検索方法。

【請求項 3】 請求項 1 において、

前記検索対象索出ステップは、前記検索対象マップを参照して、前記第 2 の位
置算出ステップで算出した前記仮想空間における位置と前記仮想空間の原点とを
結ぶ直線と、前記仮想空間における前記検索対象の位置と前記仮想空間の原点と
を結ぶ直線とがなす角度が小さい位置の検索対象から順に索出することを特徴と
する検索方法。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、

前記検索対象は、前記表現語を含むデータであり、

前記検索対象から前記表現語を抽出する表現語抽出ステップと、前記表現語抽出ステップで抽出した表現語と対応付けて前記検索対象を記憶する表現語対応付ステップとを含むことを特徴とする検索方法。

【請求項 5】 与えられた検索語をもとに、複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する装置であって、

検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶手段と、前記複数の検索対象を記憶した検索対象記憶手段と、前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応付けられた表現語又は前記各検索対象に含まれる表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出手段と、前記第 1 の位置算出手段で算出した位置に基づいて前記検索対象記憶手段の各検索対象を前記仮想空間上に配置した検索対象マップを生成する検索対象マップ生成手段と、前記表現語マップを参照して前記検索語の前記仮想空間における位置を算出する第 2 の位置算出手段と、前記検索対象マップを参照して前記第 2 の位置算出手段で算出した位置に基づき前記検索対象記憶手段のなかから前記検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を索出する検索対象索出手段とを備えることを特徴とする検索装置。

【請求項 6】 請求項 5 において、

前記検索対象索出手段は、前記検索対象マップを参照して、前記仮想空間において前記第 2 の位置算出手段で算出した位置との距離が小さい位置の検索対象から順に索出するようになっていることを特徴とする検索装置。

【請求項 7】 請求項 5 において、

前記検索対象索出手段は、前記検索対象マップを参照して、前記第 2 の位置算出手段で算出した前記仮想空間における位置と前記仮想空間の原点とを結ぶ直線と、前記仮想空間における前記検索対象の位置と前記仮想空間の原点とを結ぶ直線とがなす角度が小さい位置の検索対象から順に索出するようになっていることを特徴とする検索装置。

【請求項 8】 請求項 5 乃至 7 のいずれかにおいて、

前記検索対象は、前記表現語を含むデータであり、

前記検索対象から前記表現語を抽出する表現語抽出手段と、前記表現語抽出手段で抽出した表現語と対応付けて前記検索対象を前記検索対象記憶手段に記憶する表現語対応付手段とを備えることを特徴とする検索装置。

【請求項 9】 与えられた検索語をもとに、複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する検索プログラムを記憶した記憶媒体であって、

検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶手段と、前記複数の検索対象を記憶した検索対象記憶手段とを備えるコンピュータに対して、

前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応付けられた表現語又は前記各検索対象に含まれる表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出手段と、前記第 1 の位置算出手段で算出した位置に基づいて前記検索対象記憶手段の各検索対象を前記仮想空間上に配置した検索対象マップを生成する検索対象マップ生成手段と、前記表現語マップを参照して前記検索語の前記仮想空間における位置を算出する第 2 の位置算出手段と、前記検索対象マップを参照して前記第 2 の位置算出手段で算出した位置に基づき前記検索対象記憶手段のなかから前記検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を索出する検索対象索出手段とで実現される処理を実行させるためのプログラムを記憶したことを特徴とする検索プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 10】 複数の検索対象をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した検索対象マップを用いて、与えられた検索語をもとに、前記複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法に用いられる前記検索対象マップを作成する方法であって、

検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶しておくとともに、前記各検索対象を前記表現語と対応付けて記憶しておき、

前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応する表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出ステップと、前記第 1 の位置算出ステッ

ブで算出した位置に基づいて前記検索対象マップを生成する検索対象マップ生成ステップとを含むことを特徴とする検索対象マップ作成方法。

【請求項 1 1】 複数の検索対象をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した検索対象マップを用いて、与えられた検索語をもとに、前記複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法に用いられる前記検索対象マップを作成する装置であって、

検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶手段と、前記各検索対象を前記表現語と対応付けて記憶した検索対象記憶手段と、前記表現語マップを参照して前記検索対象記憶手段の表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出手段と、前記第 1 の位置算出手段で算出した位置に基づいて前記検索対象マップを生成する検索対象マップ生成手段とを備えることを特徴とする検索対象マップ作成装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、形容詞等の感覚的な表現語を検索語として用い、複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法、装置および記憶媒体に係り、特に、ヘアスタイル画像のイメージ検索を行う方法、装置および記憶媒体に関する。さらに詳しくは、手間や時間の面で有利に、検索対象のイメージ検索を行うのに好適な検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、検索対象マップ作成方法および検索対象マップ作成装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

絵画や写真等の画像をコンピュータに多数蓄積して画像データベースを構築し、必要に応じて自分のイメージした画像を素早く引き出せるようにしたいといった要求を、商品コンセプトに基づいて新しい造形を行う工業デザイナーやプランナの多くが持っている。この場合、所望の画像の検索を、「暖かい」、「近代的な

」といった画像をイメージとして捉えた感覚的な表現語を用いて行えればたいへん便利である。

【 0 0 0 3 】

従来、このような感覚的な表現語を検索語として用い、複数の画像のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの画像を検索する装置としては、例えば、特開昭64-73460号公報に開示された画像検索装置および特開昭63-98025号公報に開示された画像検索方式があった。

【 0 0 0 4 】

特開昭64-73460号公報に開示された画像検索装置は、多数の画像を記憶した画像記憶部と、因子負荷量を記憶した表現語属性記憶部と、因子得点を記憶した画像属性記憶部と、検索対象となる画像を表現する表現語を入力する入力部と、検索対象画像を特定する画像特定部と、画像特定部で特定した画像を画像記憶部の記憶情報を用いて表示する画像表示部とで構成されている。

【 0 0 0 5 】

表現語属性記憶部は、画像から受けるイメージを表現する多数の表現語から共通的な感覚をもつ少数の因子を抽出し、この多数の表現語の各々についてその表現語と各因子との関連度を因子負荷量として記憶している。

【 0 0 0 6 】

画像属性記憶部は、多数の画像の各々についてその画像と各因子との関連度を因子得点として記憶している。

【 0 0 0 7 】

画像特定部は、入力部で入力した表現語の因子負荷量を表現語属性記憶部の記憶情報を参照して求め、求めた因子負荷量に基づいて画像属性記憶部の記憶情報を参照して検索対象画像を特定するようになっている。

【 0 0 0 8 】

これにより、画像をイメージとして捉えた感覚的な表現語を用い、その表現語のイメージに適合したイメージの画像を容易かつ迅速に検索することが可能となる。

【 0 0 0 9 】

一方、特開昭63-98025号公報に開示された画像検索方式は、種々の画像をデータベース化し、診断、解析等に利用するシステムにおいて、画像内容に関するメモをユーザがC R T画面上の画像に書き込み、そのメモから検索キーを抽出し、その検索キーにより画像内容が類似した画像の検索を行うようになっている。

【 0 0 1 0 】

これにより、利用者に負担をかけずに、画像内容に依存した検索キーを設定することができ、その結果、類似画像検索を実現することができる。

【 0 0 1 1 】

【発明が解決しようとする課題】

このように、上記従来の画像検索装置にあっては、多数の画像の各々についてその画像と各因子との関連度を因子得点としてあらかじめ記憶しておかなければならない。

【 0 0 1 2 】

しかしながら、多数の画像の各々についてその画像と各因子との関連度を因子得点として求めるには、各因子軸を有する座標系の仮想空間上に、検索対象となる画像を一つ一つマッピングしていかなければならない。この仮想空間は、表現語から受ける感覚を定量化したときの大きさを各因子軸に割り当てたものであるため、仮想空間上へのマッピング作業には、きわめて感覚的な判断を要する。そのため、マッピング作業の自動化はきわめて困難であり、実際には、人手により行われる。したがって、検索対象となる画像の数が膨大になると、マッピング作業に多大な手間や時間を要することとなる。

【 0 0 1 3 】

一方、上記従来の画像検索方式にあっては、メモから検索キーを抽出し、その検索キーにより画像内容が類似した画像の検索を行うようになっているため、検索語がメモから抽出した検索キーと完全に一致していなければ、目的の画像を探し出すことができない。すなわち、検索語のイメージに適合するイメージの画像を索出することができない。これを実現するためには、一つの画像に対してそのイメージに適合するイメージの表現語を想定しうる限りすべてメモに記載しておかなければならず、その作業に多大な手間や時間を要することになる。

【 0 0 1 4 】

これらのことは、画像のイメージ検索を行う場合に限らず、文書、音楽、動画その他の検索対象のイメージ検索を行う場合についても、これと同様の問題が想定される。

【 0 0 1 5 】

ところで、理髪店や美容院では、客からヘアースタイルの注文を受け、そのヘアースタイルとなるようにヘアカットを行っている。この場合、客は、待ち時間を利用して、備え付けの雑誌等に掲載されているヘアースタイルのなかから好みのヘアースタイルを選択し、注文するケースが多い。しかし、近年のヘアースタイルの多様化に伴い、客が選択できるヘアースタイルの範囲が広がり、客にとっては好ましい面もあるが、一方で、その数が膨大であることから所望のヘアースタイルを少ない待ち時間の間で探し出すことが難しい場合もある。そこで、上記のように、感覚的な表現語を検索語として用い、複数の画像のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの画像を検索する技術を、ヘアースタイルを探し出す場合にも応用できればたいへん便利である。すなわち、客がイメージしているヘアースタイルを表現する表現語を検索語として用い、そのヘアースタイル画像を容易かつ迅速に検索できれば、少ない待ち時間の間でも所望のヘアースタイルを探し出すことが可能となる。

【 0 0 1 6 】

そこで、本発明は、このような従来の技術の有する未解決の課題に着目してなされたものであって、手間や時間の面で有利に、検索対象のイメージ検索を行うのに好適な検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、検索対象マップ作成方法および検索対象マップ作成装置を提供することを第1の目的としている。また、所望のヘアースタイルを探し出す場合に好適な検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、検索対象マップ作成方法および検索対象マップ作成装置を提供することを第2の目的としている。

【 0 0 1 7 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る請求項1記載の検索方法は、与えら

れた検索語をもとに、複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法であって、検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶しておくとともに、前記複数の検索対象を記憶しておき、前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応付けられた表現語または前記各検索対象に含まれる表現語の前記仮想空間における位置を算出する第1の位置算出ステップと、前記第1の位置算出ステップで算出した位置に基づいて前記各検索対象を前記仮想空間上に配置した検索対象マップを生成する検索対象マップ生成ステップと、前記表現語マップを参照して前記検索語の前記仮想空間における位置を算出する第2の位置算出ステップと、前記検索対象マップを参照して前記第2の位置算出ステップで算出した位置に基づき前記複数の検索対象のなかから前記検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を索出する検索対象索出ステップとを含む。

【0018】

ここで、表現語マップは、複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置したものであればどのようなデータ構造であってもよく、例えば、表現語と仮想空間におけるその位置とを対応付けたテーブルにより構成することができる。また、表現語マップでは、各表現語は、例えば、仮想空間においてイメージの関連度が高いものほど近接して配置され、イメージの関連度が低いものほど距離を隔てて配置される。またはその逆であってもよい。以下、請求項5記載の検索装置、請求項9記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項10記載の検索対象マップ作成方法および請求項11記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【0019】

また、検索対象マップは、仮想空間上に各検索対象を配置したものであればどのようなデータ構造であってもよく、例えば、検索対象と仮想空間におけるその位置とを対応付けたテーブルにより構成することができる。また、検索対象マップでは、各検索対象は、例えば、仮想空間においてその検索対象に対応付けられた表現語または各検索対象に含まれる表現語の位置と同一の位置に配置される。

したがって、各検索対象をその検索対象のイメージと適合するイメージの表現語と対応付けて記憶しておくか、各検索対象がその検索対象のイメージと適合するイメージの表現語を含んでいれば、各検索対象は、それらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置されることになる。以下、請求項 5 記載の検索装置、請求項 9 記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項 1 0 記載の検索対象マップ作成方法および請求項 1 1 記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【 0 0 2 0 】

また、検索対象マップは、仮想空間上に各検索対象を直接配置したものに限らず、仮想空間上に各検索対象を間接的に配置したものであってもよい。後者の場合は、例えば、検索対象と何らかのデータとを対応付けておき、そのデータを仮想空間上に配置することにより行う。もちろん、このように、仮想空間と検索対象との間に他のデータを介在させることによりそれらを 2 段階で関連付けるのに限らず、より多段階で関連付けることもできる。例えば、3 段階に関連付ける場合を挙げれば、検索対象と第 1 のデータとを対応付け、第 1 のデータと第 2 のデータとを対応付けておき、第 2 のデータを仮想空間上に配置することもできる。以下、請求項 5 記載の検索装置、請求項 9 記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項 1 0 記載の検索対象マップ作成方法および請求項 1 1 記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【 0 0 2 1 】

また、各検索対象が表現語と対応付けられている場合、各検索対象は、1 つの表現語と対応付けて記憶するに限らず、2 つ以上の表現語と対応付けて記憶してもよい。後者の場合、検索対象マップでは、仮想空間において同一の検索対象を異なる複数の位置に配置してもよいし、各表現語の位置から代表となる位置を定め、その代表位置に配置してもよい。以下、請求項 5 記載の検索装置、請求項 9 記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項 1 0 記載の検索対象マップ作成方法および請求項 1 1 記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【 0 0 2 2 】

また、各検索対象が表現語を含んでいる場合、各検索対象は、1 つの表現語を

含んでいるのに限らず、2つ以上の表現語を含んでいてもよい。後者の場合、検索対象マップでは、仮想空間において同一の検索対象を異なる複数の位置に配置してもよいし、各表現語の位置から代表となる位置を定め、その代表位置に配置してもよい。以下、請求項5記載の検索装置、請求項9記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項10記載の検索対象マップ作成方法および請求項11記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【0023】

また、仮想空間は、例えば、1または2以上の軸を有する座標系で表現することができ、この場合、各軸には、感覚を定量化したときのその大きさを割り当てるようにする。以下、請求項5記載の検索装置、請求項9記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項10記載の検索対象マップ作成方法および請求項11記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【0024】

また、検索対象には、例えば、画像、文書、音楽、動画その他の検索対象が含まれる。すなわち、こうした検索対象のイメージ検索を行う場合には、本発明の適用が好適である。以下、請求項5記載の検索装置、請求項9記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体、請求項10記載の検索対象マップ作成方法および請求項11記載の検索対象マップ作成装置において同じである。

【0025】

さらに、本発明に係る請求項2記載の検索方法は、請求項1記載の検索方法において、前記検索対象索出ステップは、前記検索対象マップを参照して、前記仮想空間において前記第2の位置算出ステップで算出した位置との距離が小さい位置の検索対象から順に索出する。

【0026】

ここで、本発明による検索には、次の4つの態様が考えられる。

【0027】

まず、第1に、検索対象マップにおいて各検索対象がそれぞれ仮想空間における1つの位置に配置されている場合に、1つの表現語からなる検索語が与えられる場合である。この場合、検索対象の検索方法としては、例えば、仮想空間にお

いて検索語の位置と各検索対象の位置との距離を算出し、算出した距離が小さい検索対象から順に索出する。

【 0 0 2 8 】

第2に、検索対象マップにおいて各検索対象がそれぞれ仮想空間における1つの位置に配置されている場合に、2つ以上の表現語を含む検索語が与えられる場合である。この場合、検索対象の検索方法としては、例えば、仮想空間において各検索語の位置と各検索対象の位置との距離をそれぞれ算出し、算出した距離が小さい検索対象から順に索出する。

【 0 0 2 9 】

第3に、検索対象マップにおいて同一の検索対象が仮想空間における複数の位置に配置されている場合に、1つの表現語からなる検索語が与えられる場合である。この場合、検索対象の検索方法としては、例えば、各検索対象について、仮想空間において検索語の位置とその検索対象の各位置との距離をそれぞれ算出し、算出した距離に基づいて代表となる距離（例えば、各距離の平均）を定め、定めた代表距離が小さい検索対象から順に索出する。

【 0 0 3 0 】

第4に、検索対象マップにおいて同一の検索対象が仮想空間における複数の位置に配置されている場合に、2つ以上の表現語を含む検索語が与えられる場合である。この場合、検索対象の検索方法としては、例えば、各検索対象について、仮想空間において一つの検索語の位置とその検索対象の各位置との距離をそれぞれ算出し、算出した距離に基づいて代表となる距離を定める。これを各検索語ごとに行い、定めた代表距離が小さい検索対象から順に索出する。

【 0 0 3 1 】

以下、請求項6記載の検索装置において同じである。

【 0 0 3 2 】

さらに、本発明に係る請求項3記載の検索方法は、請求項1記載の検索方法において、前記検索対象索出ステップは、前記検索対象マップを参照して、前記第2の位置算出ステップで算出した前記仮想空間における位置と前記仮想空間の原点とを結ぶ直線と、前記仮想空間における前記検索対象の位置と前記仮想空間の

原点とを結ぶ直線とがなす角度が小さい位置の検索対象から順に索出する。

【 0 0 3 3 】

上記請求項 2 記載の検索方法の箇所で述べた 4 つの形態については、請求項 3 記載の検索方法により検索対象を索出する場合にも距離を角度に置き換えることで同様に考えることができる。以下、請求項 7 記載の検索装置において同じである。

【 0 0 3 4 】

さらに、本発明に係る請求項 4 記載の検索方法は、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の検索方法において、前記検索対象は、前記表現語を含むデータであり、前記検索対象から前記表現語を抽出する表現語抽出ステップと、前記表現語抽出ステップで抽出した表現語と対応付けて前記検索対象を記憶する表現語対応付ステップとを含む。

【 0 0 3 5 】

一方、上記目的を達成するために、本発明に係る請求項 5 記載の検索装置は、与えられた検索語をもとに、複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する装置であって、検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶手段と、前記複数の検索対象を記憶した検索対象記憶手段と、前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応付けられた表現語または前記各検索対象に含まれる表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出手段と、前記第 1 の位置算出手段で算出した位置に基づいて前記検索対象記憶手段の各検索対象を前記仮想空間上に配置した検索対象マップを生成する検索対象マップ生成手段と、前記表現語マップを参照して前記検索語の前記仮想空間における位置を算出する第 2 の位置算出手段と、前記検索対象マップを参照して前記第 2 の位置算出手段で算出した位置に基づき前記検索対象記憶手段のなかから前記検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を索出する検索対象索出手段とを備える。

【 0 0 3 6 】

このような構成であれば、各検索対象が表現語と対応付けられている場合は、

第 1 の位置算出手段により、表現語マップを参照して、各検索対象に対応付けられた表現語の仮想空間における位置が算出され、検索対象マップ生成手段により、算出された位置に基づいて検索対象マップが生成される。検索対象マップでは、検索対象記憶手段の各検索対象が仮想空間上に配置される。

【 0 0 3 7 】

また、各検索対象が表現語を含んでいる場合は、第 1 の位置算出手段により、表現語マップを参照して、各検索対象に含まれる表現語の仮想空間における位置が算出され、検索対象マップ生成手段により、算出された位置に基づいて検索対象マップが生成される。検索対象マップでは、検索対象記憶手段の各検索対象が仮想空間上に配置される。

【 0 0 3 8 】

次に、検索語が与えられると、第 2 の位置算出手段により、表現語マップを参照して、検索語の仮想空間における位置が算出され、検索対象索出手段により、検索対象マップを参照して、算出された位置に基づいて検索対象記憶手段のなかから検索語のイメージに適合するイメージの検索対象が索出される。

【 0 0 3 9 】

ここで、検索対象マップの生成は、検索語が与えられる前に行うようになっていてもよいし、検索語が与えられた後に行うようになっていてもよい。以下、請求項 9 記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体において同じである。

【 0 0 4 0 】

さらに、本発明に係る請求項 6 記載の検索装置は、請求項 5 記載の検索装置において、前記検索対象索出手段は、前記検索対象マップを参照して、前記仮想空間において前記第 2 の位置算出手段で算出した位置との距離が小さい位置の検索対象から順に索出するようになっている。

【 0 0 4 1 】

このような構成であれば、検索対象索出手段により、検索対象マップを参照して、仮想空間において、算出された検索語の位置との距離が小さい位置の検索対象から順に索出される。

【 0 0 4 2 】

さらに、本発明に係る請求項 7 記載の検索装置は、請求項 5 記載の検索装置において、前記検索対象索出手段は、前記検索対象マップを参照して、前記第 2 の位置算出手段で算出した前記仮想空間における位置と前記仮想空間の原点とを結ぶ直線と、前記仮想空間における前記検索対象の位置と前記仮想空間の原点とを結ぶ直線とがなす角度が小さい位置の検索対象から順に索出するようになっている。

【 0 0 4 3 】

このような構成であれば、検索対象索出手段により、検索対象マップを参照して、算出された仮想空間における位置と仮想空間の原点とを結ぶ直線と、仮想空間における検索対象の位置と仮想空間の原点とを結ぶ直線とがなす角度が小さい位置の検索対象から順に索出される。

【 0 0 4 4 】

さらに、本発明に係る請求項 8 記載の検索装置は、請求項 5 ないし 7 のいずれかに記載の検索装置において、前記検索対象は、前記表現語を含むデータであり、前記検索対象から前記表現語を抽出する表現語抽出手段と、前記表現語抽出手段で抽出した表現語と対応付けて前記検索対象を前記検索対象記憶手段に記憶する表現語対応付手段とを備える。

【 0 0 4 5 】

このような構成であれば、表現語抽出手段により、検索対象から表現語が抽出され、表現語対応付手段により、抽出された表現語と対応付けて検索対象が検索対象記憶手段に記憶される。

【 0 0 4 6 】

一方、上記目的を達成するために、本発明に係る請求項 9 記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体は、与えられた検索語をもとに、複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する検索プログラムを記憶した記憶媒体であって、検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶手段と、前記複数の検索対象を記憶した検索対象記憶手段とを備えるコンピュータに対して、前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対

応付けられた表現語または前記各検索対象に含まれる表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出手段と、前記第 1 の位置算出手段で算出した位置に基づいて前記検索対象記憶手段の各検索対象を前記仮想空間上に配置した検索対象マップを生成する検索対象マップ生成手段と、前記表現語マップを参照して前記検索語の前記仮想空間における位置を算出する第 2 の位置算出手段と、前記検索対象マップを参照して前記第 2 の位置算出手段で算出した位置に基づき前記検索対象記憶手段のなかから前記検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を索出する検索対象索出手段とで実現される処理を実行させるためのプログラムを記憶した検索プログラムを記憶した記憶媒体である。

【 0 0 4 7 】

このような構成であれば、記憶媒体に記憶されたプログラムがコンピュータによって読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが実行したときは、請求項 5 記載の検索装置と同等の作用が得られる。

【 0 0 4 8 】

一方、上記目的を達成するために、本発明に係る請求項 1 0 記載の検索対象マップ作成方法によれば、検索対象となる複数の検索対象をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した検索対象マップを用いて、与えられた検索語をもとに、前記複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法に用いられる前記検索対象マップを作成する方法であって、検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶しておくとともに、前記各検索対象を前記表現語と対応付けて記憶しておき、前記表現語マップを参照して前記各検索対象に対応する表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出ステップと、前記第 1 の位置算出ステップで算出した位置に基づいて前記検索対象マップを生成する検索対象マップ生成ステップとを含む。

【 0 0 4 9 】

一方、上記目的を達成するために、本発明に係る請求項 1 1 記載の検索対象マップ作成装置によれば、検索対象となる複数の検索対象をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した検索対象マップを用いて、与えられた検索語を

もとに、前記複数の検索対象のなかからその検索語のイメージに適合するイメージの検索対象を検索する方法に用いられる前記検索対象マップを作成する装置であって、検索対象のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶手段と、前記各検索対象を前記表現語と対応付けて記憶した検索対象記憶手段と、前記表現語マップを参照して前記検索対象記憶手段の表現語の前記仮想空間における位置を算出する第 1 の位置算出手段と、前記第 1 の位置算出手段で算出した位置に基づいて前記検索対象マップを生成する検索対象マップ生成手段とを備える。

【 0 0 5 0 】

このような構成であれば、第 1 の位置算出手段により、表現語マップを参照して、検索対象記憶手段の表現語の仮想空間における位置が算出され、検索対象マップ生成手段により、算出された位置に基づいて検索対象マップが生成される。検索対象マップでは、検索対象記憶手段の各検索対象が仮想空間上に配置される。

【 0 0 5 1 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。図 1 ないし図 1 5 は、本発明に係る検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、検索対象マップ作成方法および検索対象マップ作成装置の実施の形態を示す図である。

【 0 0 5 2 】

本実施の形態は、本発明に係る検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、検索対象マップ作成方法および検索対象マップ作成装置を、図 1 に示すように、コンピュータ 1 0 0 により、形容詞等の感覚的な表現語を検索語として用い、ヘアースタイルを表した複数のヘアースタイル画像のなかからその検索語のイメージに適合するイメージのヘアースタイル画像を検索する場合について適用したものである。

【 0 0 5 3 】

まず、本発明を適用するコンピュータ 1 0 0 の構成を図 1 を参照しながら説明

する。図1は、本発明を適用するコンピュータ100の構成を示すブロック図である。

【0054】

コンピュータ100は、図1に示すように、制御プログラムに基づいて演算およびシステム全体を制御するCPU30と、所定領域にあらかじめCPU30の制御プログラム等を格納しているROM32と、ROM32等から読み出したデータやCPU30の演算過程に必要な演算結果を格納するためのRAM34と、RAM34の特定領域に格納されているデータを画像信号に変換して表示装置42に出力するCRTC36と、外部装置に対してデータの入出力を媒介するI/F38とで構成されており、これらは、データを転送するための信号線であるバス39で相互にかつデータ授受可能に接続されている。

【0055】

I/F38には、外部装置として、ヒューマンインターフェースとしてデータの入力可能なキーボードやマウス等からなる入力装置40と、画像信号に基づいて画面を表示する表示装置42と、複数の表現語を仮想空間上に配置した表現語マップを記憶した表現語マップ記憶装置44と、検索対象となる複数のヘアースタイル画像データを仮想空間上に配置した画像マップを記憶するための画像マップ記憶装置45と、検索対象となる複数のヘアースタイル画像データを記憶した画像記憶装置46とが接続されている。

【0056】

RAM34は、特定領域として、表示装置42に表示するための表示用データを格納するVRAM35を有しており、VRAM35は、CPU30とCRTC36とで独立にアクセスが可能となっている。

【0057】

CRTC36は、VRAM35に格納されている表示用データを先頭アドレスから所定周期で順次読み出し、読み出した表示用データを画像信号に変換して表示装置42に出力するようになっている。

【0058】

次に、表現語マップ記憶装置44のデータ構造を図2および図3を参照しながら

ら詳細に説明する。図2は、複数の表現語を配置した仮想空間50を示す概念図であり、図3は、表現語マップ60のデータ構造を示す図である。

【0059】

表現語マップ60は、図2に示すように、第1の軸52と、第1の軸52と直交する第2の軸54とを有する座標系の仮想空間50上に、ヘアースタイル画像のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて配置したものである。

【0060】

第1の軸52は、ダイナミックという感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向（図面右方向）に割り当て、かつ、スマートという感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向（図面左方向）に割り当ててある。すなわち、第1の軸52上では、第2の軸54と交差する点を原点とし、原点から一方の軸方向に向かうにつれてダイナミックという感覚が大きくなっていき、逆に原点から他方の軸方向に向かうにつれてスマートという感覚が大きくなっていくことを意味する。

【0061】

第2の軸54は、男性的という感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向（図面上方向）に割り当て、かつ、女性的という感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向（図面下方向）に割り当ててある。すなわち、第2の軸54上では、第1の軸52と交差する点を原点とし、原点から一方の軸方向に向かうにつれて男性的という感覚が大きくなっていき、逆に原点から他方の軸方向に向かうにつれて女性的という感覚が大きくなっていくことを意味する。

【0062】

図2の例では、「すがすがしい」、「美しい」、「清涼」および「澄んだ」という表現語が仮想空間50の第1象限に配置されている。表現語マップ60によれば、これらは、男性的でかつダイナミックという感覚を有する言葉であると定義付けられる。また、「楽しい」、「暑い」および「ダイナミックな」という表現語が仮想空間50の第4象限に配置されている。表現語マップ60によれば、これらは、女性的でかつダイナミックという感覚を有する言葉であると定義付け

られる。

【0063】

次に、表現語マップ60のデータ構造を図3を参照しながら詳細に説明する。

【0064】

表現語マップ60には、図3に示すように、各表現語ごとに一つのレコードが登録されている。各レコードは、表現語を登録するフィールド62と、フィールド62の表現語の仮想空間50における座標を登録するフィールド64とを含んで構成されている。

【0065】

図3の例では、図中1段目のレコードには、フィールド62に表現語として「さっぱりした」が、フィールド64に仮想空間50における座標として「(0.75, 0.85)」が登録されている。また、図中8段目のレコードには、フィールド62に表現語として「軽快な」が、フィールド64に仮想空間50における座標として「(0.65, 0.50)」が登録されている。なお、仮想空間50における座標のうち第1の軸52の値は、原点を基準として第1の軸52の一方の軸方向を正としかつ他方の軸方向を負とし、原点からの距離が大きくなるにつれて大きな値として表すものとする。また、仮想空間50における座標のうち第2の軸54の値は、原点を基準として第2の軸54の一方の軸方向を正としかつ他方の軸方向を負とし、原点からの距離が大きくなるにつれて大きな値として表すものとする。

【0066】

次に、表現語マップ60の作成方法を図4ないし図6を参照しながら詳細に説明する。図4ないし図6は、表現語マップ60の作成方法を示す図である。

【0067】

表現語マップ60は、次のように作成する。まず、各ヘアースタイル画像データjpg01～jpg09をそのイメージを表現する表現語と対応付けて記憶しておく。

【0068】

次いで、図4に示すように、複数のヘアースタイル画像データjpg01～jpg09のなかから代表となるいくつかの代表ヘアースタイル画像データを選択し、選択した代表ヘアースタイル画像データを仮想空間50上に配置する。この配置作業は

、例えば、C A D (Computer Aided Design) 装置を用いて人手により行う。

【 0 0 6 9 】

このように、代表ヘアースタイル画像データが仮想空間 5 0 上に配置されると、図 5 に示すように、仮想空間 5 0 において代表ヘアースタイル画像データが配置されている座標に、その代表ヘアースタイル画像データに対応する表現語を配置する。このとき、仮想空間 5 0 において同一の表現語が異なる複数の座標に配置されている場合は、図 6 に示すように、その表現語の座標をそれら座標の平均の座標とする。これにより、表現語マップ 6 0 が作成される。

【 0 0 7 0 】

次に、画像記憶装置 4 6 のデータ構造を図 7 ないし図 9 を参照しながら詳細に説明する。図 7 は、検索対象となるヘアースタイル画像データを示す図であり、図 8 は、記述文書テーブル 7 0 のデータ構造を示す図であり、図 9 は、画像対応テーブル 7 5 のデータ構造を示す図である。

【 0 0 7 1 】

画像記憶装置 4 6 には、図 7 ないし図 9 に示すように、ヘアースタイルを表した複数のヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 と、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 についてそのヘアースタイル画像のイメージを記述した画像記述文書を含む記述文書テーブル 7 0 と、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 と各画像記述文書とを対応付けた画像対応テーブル 7 5 とが格納されている。

【 0 0 7 2 】

記述文書テーブル 7 0 には、図 8 に示すように、各画像記述文書ごとに一つのレコードが登録されている。各レコードは、ヘアースタイル画像のイメージを表現語を用いて記述した画像記述文書を登録するフィールド 7 4 と、フィールド 7 4 の画像記述文書を特定するための文書番号を登録するフィールド 7 2 とを含んで構成されている。

【 0 0 7 3 】

図 8 の例では、図中 1 段目のレコードには、フィールド 7 2 に文書番号として「(1)」が、フィールド 7 4 に画像記述文書として「さっぱりしていて、軽快な」が登録されている。表現語マップ 6 0 を参照すると、この場合、画像記述文

書は、「さっぱりした」および「軽快な」という表現語を用いて記述されている。また、図中５段目のレコードには、フィールド７２に文書番号として「（５）」が、フィールド７４に画像記述文書として「さわやかでナチュラル」が登録されている。表現語マップ６０を参照すると、この場合、画像記述文書は、「さわやかな」という表現語を用いて記述されている。

【 0 0 7 4 】

画像対応テーブル７５には、図９に示すように、各ヘアースタイル画像データjpg01～jpg09ごとに一つのレコードが登録されている。各レコードは、ヘアースタイル画像データのファイル名を登録するフィールド７６と、フィールド７６のヘアースタイル画像データに対応する画像記述文書の文書番号を登録するフィールド７８とを含んで構成されている。

【 0 0 7 5 】

図９の例では、図中１段目のレコードには、フィールド７６にファイル名としてヘアースタイル画像データjpg01のファイル名「jpg01」が、フィールド７８に文書番号として「（１）」が登録されている。これは、ヘアースタイル画像データjpg01が文書番号（１）により特定される画像記述文書「さっぱりしていて、軽快な」と対応することを示している。また、図中５段目のレコードには、フィールド７６にファイル名としてヘアースタイル画像データjpg05のファイル名「jpg05」が、フィールド７８に文書番号として「（５）」が登録されている。これは、ヘアースタイル画像データjpg05が文書番号（５）により特定される画像記述文書「さわやかでナチュラル」と対応することを示している。

【 0 0 7 6 】

次に、CPU 30の構成およびCPU 30で実行される処理を図１０ないし図１５を参照しながら説明する。

【 0 0 7 7 】

CPU 30は、マイクロプロセッシングユニットMPU等からなり、ROM 32の所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、そのプログラムに従って、図１０および図１３のフローチャートに示す画像マップ生成処理および検索処理を実行するようになっている。

【 0 0 7 8 】

初めに、画像マップ生成処理を図 1 0 ないし図 1 2 を参照しながら詳細に説明する。図 1 0 は、画像マップ生成処理を示すフローチャートであり、図 1 1 は、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 を配置した仮想空間 5 0 を示す概念図であり、図 1 2 は、画像マップ 8 0 のデータ構造を示す図である。

【 0 0 7 9 】

画像マップ生成処理は、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 を、そのヘアースタイル画像データに対応する文書番号を用いて仮想空間 5 0 上に配置した画像マップ 8 0 を生成する処理であって、CPU 3 0 において実行されると、図 1 0 に示すように、まず、ステップ S 1 0 0 に移行するようになっている。

【 0 0 8 0 】

ステップ S 1 0 0 では、画像マップ 8 0 の内容を記録するためのファイルを画像マップ記憶装置 4 5 に作成し、ステップ S 1 0 2 に移行して、記述文書テーブル 7 0 の先頭レコードから文書番号を読み出し、ステップ S 1 0 4 に移行する。

【 0 0 8 1 】

ステップ S 1 0 4 では、読み出した文書番号に対応する画像記述文書を記述文書テーブル 7 0 から読み出し、ステップ S 1 0 6 に移行して、読み出した画像記述文書から、表現語マップ 6 0 に登録されている表現語と同一の表現語を抽出し、ステップ S 1 0 8 に移行する。

【 0 0 8 2 】

ステップ S 1 0 8 では、表現語マップ 6 0 を参照して、抽出した表現語の仮想空間 5 0 における座標を算出する。具体的に、ステップ S 1 0 8 では、表現語マップ 6 0 に登録されている座標のうち抽出した表現語と同一の表現語の座標を、抽出した表現語の仮想空間 5 0 における座標として算出する。

【 0 0 8 3 】

次いで、ステップ S 1 1 0 に移行して、算出した仮想空間 5 0 における座標に基づいて、図 1 1 に示すように、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 を仮想空間 5 0 上に配置する。具体的に、ステップ S 1 1 0 では、読み出した文書番号と、算出した仮想空間 5 0 における座標とを対応付けて画像マップ 8 0 に登録

する。ここで、画像記述文書に複数の表現語が含まれていることによりヘアースタイル画像データについて複数の座標が算出されている場合は、読み出した文書番号と、それら座標の平均の座標とを対応付けて画像マップ 8 0 に登録する。

【 0 0 8 4 】

したがって、画像マップ 8 0 には、図 1 2 に示すように、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 ごとに一つのレコードが登録される。各レコードは、ヘアースタイル画像データに対応する文書番号を登録するフィールド 8 2 と、ヘアースタイル画像データの仮想空間 5 0 における座標を登録するフィールド 8 4 とを含んで構成される。

【 0 0 8 5 】

次いで、ステップ S 1 1 2 に移行して、すべてのヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 について画像マップ 8 0 への登録が終了したか否かを判定し、すべてのヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 について登録が終了したと判定されたとき(Yes)は、一連の処理を終了する。

【 0 0 8 6 】

一方、ステップ S 1 1 2 で、すべてのヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 について画像マップ 8 0 への登録が終了していないと判定されたとき(No)は、ステップ S 1 1 4 に移行して、記述文書テーブル 7 0 の次のレコードから文書番号を読み出し、ステップ S 1 0 4 に移行する。

【 0 0 8 7 】

次に、検索処理を図 1 3 ないし図 1 5 を参照しながら詳細に説明する。図 1 3 は、検索処理を示すフローチャートであり、図 1 4 は、検索語の仮想空間 5 0 における座標と各ヘアースタイル画像データの座標との位置関係を示す図であり、図 1 5 は、検索結果テーブル 9 0 のデータ構造を示す図である。

【 0 0 8 8 】

検索処理は、与えられた検索語をもとに、その検索語のイメージに適合するイメージのヘアースタイル画像を画像記憶装置 4 6 から検索する処理であって、CPU 3 0 において実行されると、図 1 3 に示すように、まず、ステップ S 2 0 0 に移行するようになっている。

【 0 0 8 9 】

ステップ S 2 0 0 では、検索語を入力装置 4 0 から入力し、ステップ S 2 0 2 に移行して、検索結果テーブル 9 0 の内容を記録するためのファイルを画像記憶装置 4 6 に作成し、ステップ S 2 0 4 に移行する。

【 0 0 9 0 】

ステップ S 2 0 4 では、表現語マップ 6 0 を参照して、入力した検索語の仮想空間 5 0 における座標を算出する。具体的に、ステップ S 2 0 4 では、表現語マップ 6 0 に登録されている座標のうち入力した検索語と同一の表現語の座標を、入力した検索語の仮想空間 5 0 における座標として算出する。

【 0 0 9 1 】

次いで、ステップ S 2 0 6 に移行して、画像マップ 8 0 の先頭レコードから仮想空間 5 0 における座標を読み出し、ステップ S 2 0 8 に移行して、図 1 4 に示すように、算出した検索語の仮想空間 5 0 における座標と、読み出したヘアースタイル画像データの仮想空間 5 0 における座標との距離を算出し、ステップ S 2 1 0 に移行して、すべてのヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 について距離の算出が終了したか否かを判定し、すべてのヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 について算出が終了したと判定されたとき (Yes) は、ステップ S 2 1 2 に移行する。

【 0 0 9 2 】

ステップ S 2 1 2 では、ステップ S 2 0 8 の算出結果を距離が小さい順にソートし、ステップ S 2 1 4 に移行して、ソートの結果ステップ S 2 0 8 の算出結果における順位と、画像マップ 8 0 に登録されている文書番号とを対応付けて、その順位が低い順に検索結果テーブル 9 0 に登録し、ステップ S 2 1 6 に移行する。

【 0 0 9 3 】

したがって、検索結果テーブル 9 0 には、図 1 5 に示すように、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 ごとに一つのレコードが登録され、これらレコードは、ステップ S 2 0 8 の算出結果における順位が低い順にソートされる。各レコードは、ステップ S 2 0 8 の算出結果における順位を登録するフィールド 9 2 と

、ヘアースタイル画像データに対応する文書番号を登録するフィールド94とを含んで構成される。

【0094】

ステップS216では、画像対応テーブル75を参照して、検索結果テーブル90に基づいて検索結果を表示装置42に表示し、一連の処理を終了する。具体的に、ステップS216では、検索結果テーブル90の先頭レコードから順に文書番号を読み出し、画像対応テーブル75のレコードのうち読み出した文書番号と同一の文書番号が登録されているレコードからファイル名を読み出し、読み出したファイル名のヘアースタイル画像データを画像記憶装置46から読み出して表示装置42に表示する。

【0095】

一方、ステップS210で、すべてのヘアースタイル画像データjpg01～jpg09について距離の算出が終了していないと判定されたとき(No)は、ステップS218に移行して、画像マップ80の次のレコードから仮想空間50における座標を読み出し、ステップS208に移行する。

【0096】

次に、上記実施の形態の動作を説明する。

【0097】

初めに、画像マップ80を生成する場合を説明する。

【0098】

画像マップ80を生成する場合は、まず、ステップS100～S104を経て、記述文書テーブル70の先頭レコードから文書番号が読み出され、読み出された文書番号に対応する画像記述文書が記述文書テーブル70から読み出される。

【0099】

次いで、ステップS106～S110を経て、読み出された画像記述文書から表現語が抽出され、表現語マップ60を参照して、抽出された表現語の仮想空間50における座標が算出され、読み出された文書番号と、算出された仮想空間50における座標とが対応付けられて画像マップ80に登録される。

【0100】

そして、ステップ S 1 0 4 ~ S 1 1 0 の処理がすべてのヘアースタイル画像データ jpg01 ~ jpg09 について行われることにより、各ヘアースタイル画像データ jpg01 ~ jpg09 を仮想空間 5 0 上に配置した画像マップ 8 0 が生成される。

【 0 1 0 1 】

なお、画像記述文書に複数の表現語が含まれていることによりヘアースタイル画像データについて複数の座標が算出されている場合は、それら座標の平均の座標が、そのヘアースタイル画像データの仮想空間 5 0 における座標として算出される。

【 0 1 0 2 】

次に、与えられた検索語をもとに、その検索語のイメージに適合するイメージのヘアースタイル画像を検索する場合を説明する。

【 0 1 0 3 】

ヘアースタイル画像のイメージ検索を行う場合は、イメージ検索をしようとする者（例えば、理髪店や美容院の客）は、自己がイメージするヘアースタイルを表現する表現語（例えば、「さっぱりとした」）を検索語として入力装置 4 0 に入力する。検索語が入力されると、まず、ステップ S 2 0 0 ~ S 2 0 4 を経て、表現語マップ 6 0 を参照して、入力された検索語の仮想空間 5 0 における座標が算出される。

【 0 1 0 4 】

次いで、ステップ S 2 0 6, S 2 0 8 を経て、画像マップ 8 0 の先頭レコードから仮想空間 5 0 における座標が読み出され、算出された検索語の仮想空間 5 0 における座標と、読み出されたヘアースタイル画像データの仮想空間 5 0 における座標との距離が算出される。

【 0 1 0 5 】

次いで、ステップ S 2 0 8 の処理がすべてのヘアースタイル画像データ jpg01 ~ jpg09 について行われると、ステップ S 2 1 2, S 2 1 4 を経て、ステップ S 2 0 8 の算出結果が距離が小さい順にソートされ、ソートの結果ステップ S 2 0 8 の算出結果における順位と、画像マップ 8 0 に登録されている文書番号とが対応付けられてその順位が低い順に検索結果テーブル 9 0 に登録される。

【 0 1 0 6 】

そして、ステップ S 2 1 6 を経て、検索結果テーブル 9 0 の先頭レコードから順に文書番号が読み出され、画像対応テーブル 7 5 のレコードのうち読み出された文書番号と同一の文書番号が登録されているレコードからファイル名が読み出され、読み出されたファイル名のヘアースタイル画像データが画像記憶装置 4 6 から読み出されて表示される。

【 0 1 0 7 】

図 1 4 の例では、検索語の仮想空間 5 0 における座標が仮想空間 5 0 の第 2 象限に位置しており、検索語の座標からみて文書番号 (3) に対応するヘアースタイル画像データが最も近い座標にあるので、このヘアースタイル画像データが第 1 の順位として索出され、検索語の座標からみて文書番号 (4) に対応するヘアースタイル画像データが次に近い座標にあるので、このヘアースタイル画像データが第 2 の順位として索出される。

【 0 1 0 8 】

したがって、検索語のイメージと一致するイメージのヘアースタイル画像が表示されるとともに、さらに検索語のイメージに類似するイメージのヘアースタイル画像が表示される。

【 0 1 0 9 】

このようにして、本実施の形態では、複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間 5 0 上に配置した表現語マップ 6 0 を記憶しておくとともに、各ヘアースタイル画像 jpg01～jpg09 を表現語と対応付けて記憶しておき、表現語マップ 6 0 を参照して、各ヘアースタイル画像 jpg01～jpg09 に対応する表現語の仮想空間 5 0 における座標を算出し、算出した座標に基づいて各ヘアースタイル画像 jpg01～jpg09 を仮想空間 5 0 上に配置した画像マップ 8 0 を生成し、表現語マップ 6 0 を参照して検索語の仮想空間 5 0 における座標を算出し、画像マップ 8 0 を参照して、算出した座標に基づき複数のヘアースタイル画像のなかから検索語のイメージに適合するイメージのヘアースタイル画像を索出するようにした。

【 0 1 1 0 】

これにより、ヘアースタイル画像のイメージ検索を行うシステムを構築するにあたって、画像マップ 8 0 をあらかじめ用意しなくてもすむので、ヘアースタイル画像を仮想空間 5 0 上にマッピングするという作業を省略することができる。したがって、従来に比して、手間や時間の面で比較的有利に、ヘアースタイル画像のイメージ検索を行うことができる。

【 0 1 1 1 】

また、ステップ S 1 0 8 の処理とステップ S 2 0 4 の処理をサブルーチン化した場合に、それら処理を共通化することができるので、プログラムバグの発見が容易となるばかりか、開発時間の短縮化およびプログラムサイズの縮小化を図ることができる。

【 0 1 1 2 】

さらに、本実施の形態では、本発明をヘアースタイル画像を検索する場合について適用した。

【 0 1 1 3 】

これにより、理髪店や美容院では、客が少ない待ち時間を利用して、多数のヘアースタイル画像のなかから所望のヘアースタイル画像を比較的容易に探し出すことができる。

【 0 1 1 4 】

さらに、本実施の形態では、仮想空間 5 0 は、第 1 の軸 5 2 と、第 1 の軸 5 2 と直交する第 2 の軸 5 4 とを有する座標系の空間であり、第 1 の軸 5 2 は、ダイナミックという感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向に割り当て、かつ、スマートという感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向に割り当ててあり、第 2 の軸 5 4 は、男性的という感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向に割り当て、かつ、女性的という感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向に割り当ててある。

【 0 1 1 5 】

これにより、複数のヘアースタイル画像のなかから比較的イメージに適合したイメージのヘアースタイル画像を索出することができるので、所望のヘアースタイル画像をさらに容易に探し出すことができる。

【 0 1 1 6 】

さらに、本実施の形態では、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09をそのイメージを表現する表現語と対応付けて記憶しておき、複数のヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09のなかから代表となるいくつかの代表ヘアースタイル画像データを選択し、選択した代表ヘアースタイル画像データを仮想空間 5 0 上に配置し、仮想空間 5 0 において代表ヘアースタイル画像データが配置されている座標に、その代表ヘアースタイル画像データに対応する表現語を配置することにより、表現語マップ 6 0 を作成するようにした。このとき、仮想空間 5 0 において同一の表現語が異なる複数の座標に配置されている場合は、その表現語の座標をそれら座標の平均の座標とする。

【 0 1 1 7 】

これにより、表現語マップ 6 0 を作成するには、いくつかのヘアースタイル画像データを仮想空間 5 0 上に配置するだけでよいので、表現語マップ 6 0 を比較的容易に作成することができる。

【 0 1 1 8 】

上記実施の形態において、表現語マップ記憶装置 4 4 は、請求項 5、9 または 1 1 記載の表現語マップ記憶手段に対応し、画像記憶装置 4 6 は、請求項 5、8、9 または 1 1 記載の検索対象記憶手段に対応し、画像マップ 8 0 は、請求項 1、2、5、6、9、1 0 または 1 1 記載の検索対象マップに対応している。

【 0 1 1 9 】

また、上記実施の形態において、ステップ S 1 0 8 は、請求項 1 または 1 0 記載の第 1 の位置算出ステップおよび請求項 5、9 または 1 1 記載の第 1 の位置算出手段に対応し、ステップ S 1 1 0 は、請求項 1 または 1 0 記載の検索対象マップ生成ステップおよび請求項 5、9 または 1 1 記載の検索対象マップ生成手段に対応している。また、ステップ S 2 0 4 は、請求項 1、2 または 1 0 記載の第 2 の位置算出ステップおよび請求項 5、6、9 または 1 1 記載の第 2 の位置算出手段に対応し、ステップ S 2 1 2、S 2 1 4 は、請求項 1、2 または 1 0 記載の検索対象索出ステップおよび請求項 5、6、9 または 1 1 記載の検索対象索出手段に対応している。

【 0 1 2 0 】

なお、上記実施の形態において、画像記憶装置 4 6 には、記述文書テーブル 7 0 および画像対応テーブル 7 5 を格納するように構成したが、これらに代えて、図 1 6 に示すように、ヘアースタイル画像データのファイル名と、ヘアースタイル画像のイメージを記述した画像記述文書とを対応付けた画像対応テーブル 7 5 を格納するように構成してもよい。図 1 6 は、画像対応テーブル 7 5 のデータ構造を示す図である。

【 0 1 2 1 】

この画像対応テーブル 7 5 には、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 ごとに一つのレコードが登録されている。各レコードは、ヘアースタイル画像データのファイル名を登録するフィールド 7 6 と、フィールド 7 6 のヘアースタイル画像データのイメージを記述した画像記述文書を登録するフィールド 7 8 とを含んで構成されている。

【 0 1 2 2 】

図 1 6 の例では、図中 1 段目のレコードには、フィールド 7 6 にファイル名としてヘアースタイル画像データ jpg01 のファイル名「jpg01」が、フィールド 7 4 に画像記述文書として「さっぱりしていて、軽快な」が登録されている。また、図中 5 段目のレコードには、フィールド 7 6 にファイル名としてヘアースタイル画像データ jpg05 のファイル名「jpg05」が、フィールド 7 4 に画像記述文書として「さわやかでナチュラル」が登録されている。

【 0 1 2 3 】

また、上記実施の形態においては、ダイナミックという感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向に割り当て、かつ、スマートという感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向に割り当てた第 1 の軸 5 2 と、男性的という感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向に割り当て、かつ、女性的という感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向に割り当てた第 2 の軸 5 4 とを有する座標系の仮想空間 5 0 上に、ヘアースタイル画像のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて配置して表現語マップ 6 0 を構成したが、これに限らず、図 1 7 に示す座標系の仮想空間 5 0 上に表現語を

配置した表現語マップ60を用いてもよい。図17は、複数の表現語を配置した仮想空間50を示す概念図である。

【0124】

この表現語マップ60は、図17に示すように、第1の軸52と、第1の軸52と直交する第2の軸54とを有する座標系の仮想空間50上に、ヘアースタイル画像のイメージを表現する複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて配置したものである。

【0125】

第1の軸52は、ダイナミックという感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向（図面右方向）に割り当て、かつ、スマートという感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向（図面左方向）に割り当ててある。すなわち、第1の軸52上では、第2の軸54と交差する点を原点とし、原点から一方の軸方向に向かうにつれてダイナミックという感覚が大きくなっていき、逆に原点から他方の軸方向に向かうにつれてスマートという感覚が大きくなっていくことを意味する。

【0126】

第2の軸54は、ライトという感覚を定量化したときのその大きさを一方の軸方向（図面上方向）に割り当て、かつ、ヘビーという感覚を定量化したときのその大きさを他方の軸方向（図面下方向）に割り当ててある。すなわち、第2の軸54上では、第1の軸52と交差する点を原点とし、原点から一方の軸方向に向かうにつれてライトという感覚が大きくなっていき、逆に原点から他方の軸方向に向かうにつれてヘビーという感覚が大きくなっていくことを意味する。

【0127】

図17の例では、「すがすがしい」、「美しい」、「清涼」および「澄んだ」という表現語が仮想空間50の第1象限に配置されている。表現語マップ60によれば、これらは、ライトでかつダイナミックという感覚を有する言葉であると定義付けられる。また、「楽しい」、「暑い」および「ダイナミックな」という表現語が仮想空間50の第4象限に配置されている。表現語マップ60によれば、これらは、ヘビーでかつダイナミックという感覚を有する言葉であると定義付

けられる。

【 0 1 2 8 】

なお、このことは、画像マップ 8 0 についても同様である。すなわち、表現語マップ 6 0 をこのようなデータ構造としたときは、画像マップ 8 0 も併せてこのようなデータ構造とする。

【 0 1 2 9 】

これにより、複数のヘアースタイル画像のなかから比較的イメージに適合したイメージのヘアースタイル画像を索出することができるので、所望のヘアースタイル画像をさらに容易に探し出すことができる。

【 0 1 3 0 】

また、上記実施の形態においては、各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09 を表現語と対応付けて画像記憶装置 4 6 に記憶したが、これに限らず、検索対象が文書データである場合は、文書データから表現語を抽出し、抽出した表現語を各文書データと対応付けて記憶してもよい。または、文書データを表現語と対応付けることなく、例えば、上記ステップ S 1 0 6 に相当する処理において、検索対象となる文書データから、表現語マップ 6 0 に登録されている表現語と同一の表現語を抽出するようにしてもよい。

【 0 1 3 1 】

また、上記実施の形態においては、仮想空間 5 0 において検索語の座標との距離が小さい座標のヘアースタイル画像から順に索出するように構成したが、これに限らず、仮想空間 5 0 における検索語の座標と仮想空間 5 0 の原点とを結ぶ直線と、仮想空間 5 0 におけるヘアースタイル画像の座標と仮想空間 5 0 の原点とを結ぶ直線とがなす角度が小さい座標のヘアースタイル画像から順に索出するように構成してもよい。

【 0 1 3 2 】

仮想空間 5 0 上では、原点からみた検索語の座標の方向とヘアースタイル画像の座標の方向とが一致すればするほど関連度が高くなるので、このように画像を索出するようにすれば、複数のヘアースタイル画像のなかから比較的イメージに適合したイメージのヘアースタイル画像を索出することができる。

【 0 1 3 3 】

また、上記実施の形態においては、仮想空間 5 0 において同一のヘアースタイル画像を単一の座標にマッピングする場合について説明したが、ヘアースタイル画像と対応付けられた画像記述文書に複数の表現語が含まれている場合は、次のようにヘアースタイル画像をマッピングする。

【 0 1 3 4 】

第 1 に、平均をとる。例えば、画像記述文書が「さっぱりと人工的な」であり、それぞれの表現語の座標として、「さっぱりした」が「(0.8,0.7)」で、「人工的な」が「(0.9,-0.8)」であったとすると、その画像記述文書に対応するヘアースタイル画像の座標は、「(0.85,-0.05)」となる。

【 0 1 3 5 】

第 2 に、それぞれの表現語の座標が所定距離以内であるときは、第 1 の場合同様それらの平均の座標をヘアースタイル画像の座標とするが、所定距離よりも離れているときは、それぞれの座標をヘアースタイル画像の座標とする。例えば、画像記述文書が「さっぱりと人工的な」であり、それぞれの表現語の座標として、「さっぱりした」が「(0.8,0.7)」で、「人工的な」が「(0.9,-0.8)」であったとし、所定距離を 0.5 とすると、それら座標間の距離がおよそ 1.5 であるので、その画像記述文書に対応するヘアースタイル画像の座標は、平均をとらずにそれぞれの座標「(0.8,0.7)」、「(0.9,-0.8)」となる。また例えば、画像記述文書が「さっぱりとスポーティな」であり、それぞれの表現語の座標として、「さっぱりした」が「(0.8,0.7)」で、「スポーティな」が「(0.7,0.3)」であったとすると、それら座標間の距離がおよそ 0.4 であるので、その画像記述文書に対応するヘアースタイル画像の座標は、平均をとって「(0.75,0.5)」となる。これは、所定距離よりも離れているときは、関連度が低いので、平均をとるよりは別々にマッピングした方がよりよい検索結果が得られることが期待されるからである。

【 0 1 3 6 】

第 3 に、仮想空間 5 0 を複数のグループに区分し、それぞれの表現語の座標が異なるグループに属しているときは、それぞれの座標をヘアースタイル画像の座

標とするが、同一のグループに属しているときは、第 1 の場合同様それらの平均の座標をヘアースタイル画像の座標とする。

【 0 1 3 7 】

第 4 に、第 1 の場合、第 2 の場合および第 3 の場合を組み合わせで行う。すなわち、それらの平均の座標をヘアースタイル画像の座標とするとともに、それぞれの座標をヘアースタイル画像の座標とする。

【 0 1 3 8 】

また、上記実施の形態において、図 1 0 および図 1 3 のフローチャートに示す処理を実行するにあたってはいずれも、ROM 3 2 にあらかじめ格納されている制御プログラムを実行する場合について説明したが、これに限らず、これらの手順を示したプログラムが記憶された記憶媒体から、そのプログラムを RAM 3 4 に読み込んで実行するようにしてもよい。

【 0 1 3 9 】

ここで、記憶媒体とは、RAM、ROM等の半導体記憶媒体、FD、HD等の磁気記憶型記憶媒体、CD、CDV、LD、DVD等の光学的読取方式記憶媒体、MO等の磁気記憶型／光学的読取方式記憶媒体であって、電子的、磁氣的、光学的等の読み取り方法のいかににかかわらず、コンピュータで読み取り可能な記憶媒体であれば、あらゆる記憶媒体を含むものである。

【 0 1 4 0 】

また、上記実施の形態においては、本発明に係る検索方法、検索装置、検索プログラムを記憶した記憶媒体、検索対象マップ作成方法および検索対象マップ作成装置を、図 1 に示すように、コンピュータ 1 0 0 により、形容詞等の感覚的な表現語を検索語として用い、ヘアースタイルを表した複数のヘアースタイル画像のなかからその検索語のイメージに適合するイメージのヘアースタイル画像を検索する場合について適用したが、これに限らず、本発明の主旨を逸脱しない範囲で他の場合にも適用可能である。

【 0 1 4 1 】

例えば、インターネットのホームページについてイメージ検索を行う場合についても適用が可能である。この場合、ホームページの画像と、そのホームページ

の文書をロボット検索等によりインターネットから取得し、取得した画像を画像記憶装置46に記憶するとともに、取得した文書を画像記述文書として画像記憶装置46に記憶する。多くの場合、ホームページの文書には、ホームページの画像を表現する表現語が含まれているので、本発明の適用が好適である。

【0142】

また例えば、地図情報のイメージ検索を行う場合についても適用が可能である。この場合、一方向を東に割り当てかつ他方向を西に割り当てた第1の軸と、一方向を北に割り当てかつ他方向を南に割り当てた第2の軸とを有する座標系の仮想空間上に、各地に関する案内情報等を日本地図上にマッピングする感覚で配置する。これにより、例えば、「諏訪の情報」という検索要求に対して、諏訪に関する案内情報の他に、諏訪と松本の距離が近いということが仮想空間によって定義されているので、松本に関する案内情報をも検索することができる。

【0143】

また、上記実施の形態においては、ヘアースタイル画像のイメージ検索を行う場合に本発明を適用したが、これに限らず、ヘアースタイル画像以外の画像、文書、音楽、動画その他の検索対象のイメージ検索を行う場合に適用することもできる。

【0144】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る請求項1ないし4記載の検索方法によれば、検索対象のイメージ検索を行うシステムを構築するにあたって、仮想空間上に検索対象をマッピングするという作業を省略することができる。したがって、従来に比して、手間や時間の面で比較的有利に、検索対象のイメージ検索を行うことができるという効果が得られる。

【0145】

一方、本発明に係る請求項5ないし8記載の検索装置によれば、検索対象のイメージ検索を行うシステムを構築するにあたって、仮想空間上に検索対象をマッピングするという作業を省略することができる。したがって、従来に比して、手間や時間の面で比較的有利に、検索対象のイメージ検索を行うことができるとい

う効果が得られる。

【0146】

一方、本発明に係る請求項9記載の検索プログラムを記憶した記憶媒体によれば、請求項5記載の検索装置と同等の効果が得られる。

【0147】

一方、本発明に係る請求項10記載の検索対象マップ作成方法によれば、検索対象のイメージ検索を行うシステムを構築するにあたって、仮想空間上に検索対象をマッピングするという作業を省略することができる。したがって、従来に比して、手間や時間の面で比較的有利に、検索対象のイメージ検索を行うことができるという効果が得られる。

【0148】

一方、本発明に係る請求項11記載の検索対象マップ作成装置によれば、検索対象のイメージ検索を行うシステムを構築するにあたって、仮想空間上に検索対象をマッピングするという作業を省略することができる。したがって、従来に比して、手間や時間の面で比較的有利に、検索対象のイメージ検索を行うことができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用するコンピュータ100の構成を示すブロック図である。

【図2】

複数の表現語を配置した仮想空間50を示す概念図である。

【図3】

表現語マップ60のデータ構造を示す図である。

【図4】

表現語マップ60の作成方法を示す図である。

【図5】

表現語マップ60の作成方法を示す図である。

【図6】

表現語マップ60の作成方法を示す図である。

【図 7】

検索対象となるヘアースタイル画像データを示す図である。

【図 8】

記述文書テーブル 7 0 のデータ構造を示す図である。

【図 9】

画像対応テーブル 7 5 のデータ構造を示す図である。

【図 1 0】

画像マップ生成処理を示すフローチャートである。

【図 1 1】

各ヘアースタイル画像データ jpg01～jpg09を配置した仮想空間 5 0 を示す概念図である。

【図 1 2】

画像マップ 8 0 のデータ構造を示す図である。

【図 1 3】

検索処理を示すフローチャートである。

【図 1 4】

検索語の仮想空間 5 0 における座標と各ヘアースタイル画像データの座標との位置関係を示す図である。

【図 1 5】

検索結果テーブル 9 0 のデータ構造を示す図である。

【図 1 6】

画像対応テーブル 7 5 のデータ構造を示す図である。

【図 1 7】

複数の表現語を配置した仮想空間 5 0 を示す概念図である。

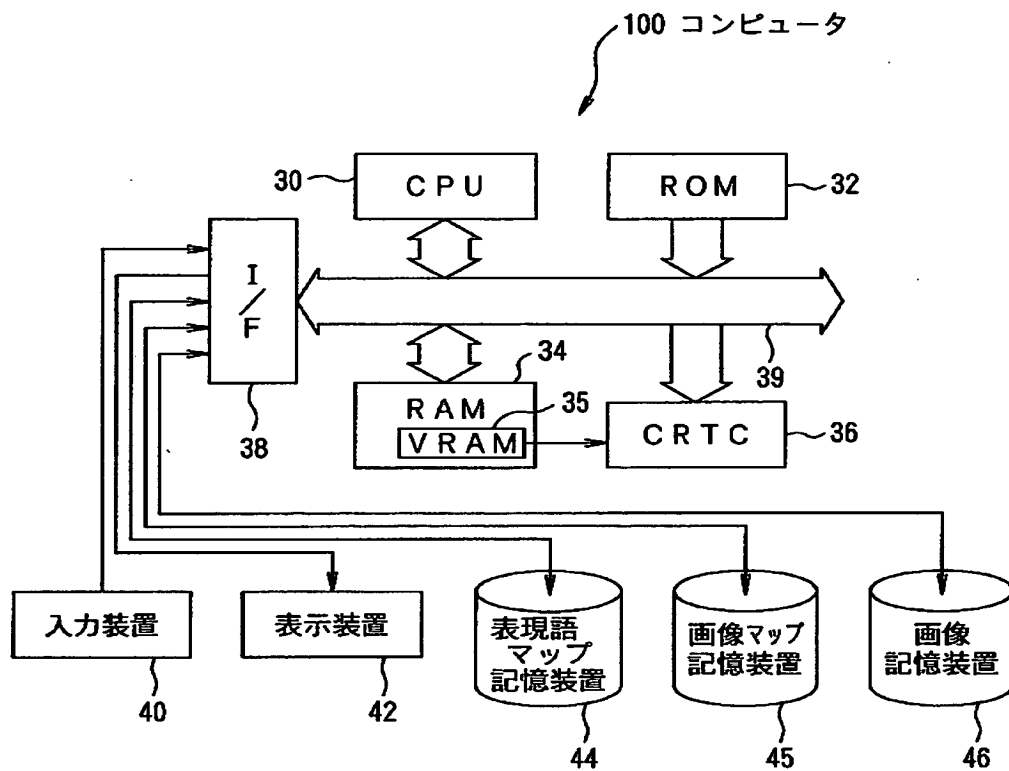
【符号の説明】

1 0 0	コンピュータ
3 0	C P U
3 2	R O M
3 4	R A M

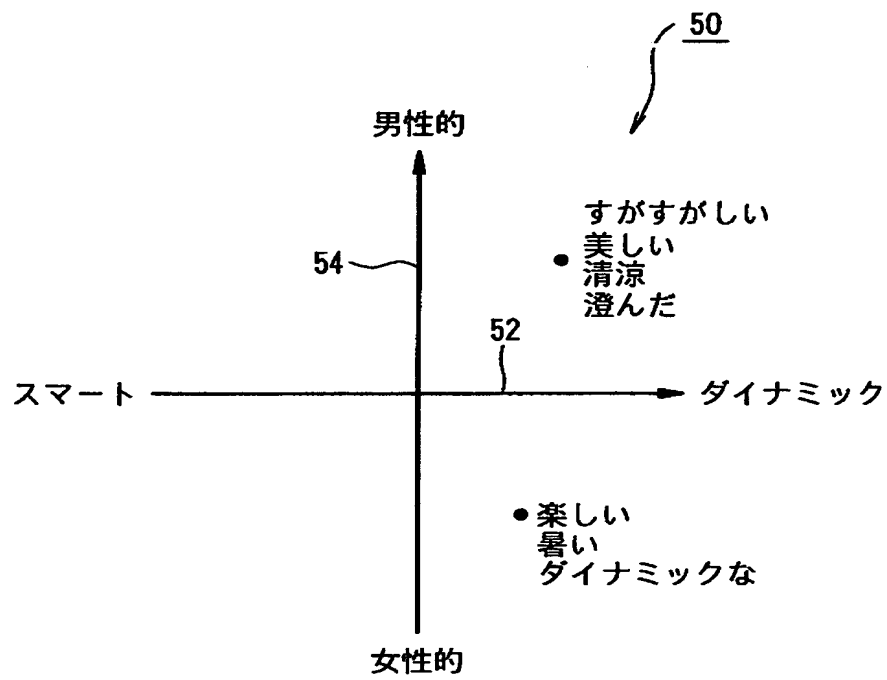
3 5	V R A M
3 6	C R T C
3 8	I / F
4 0	入力装置
4 2	表示装置
4 4	表現語マップ記憶装置
4 5	画像マップ記憶装置
4 6	画像記憶装置
5 0	仮想空間
5 2	第 1 の軸
5 4	第 2 の軸
6 0	表現語マップ
7 0	記述文書テーブル
7 5	画像対応テーブル
8 0	画像マップ
9 0	検索結果テーブル

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

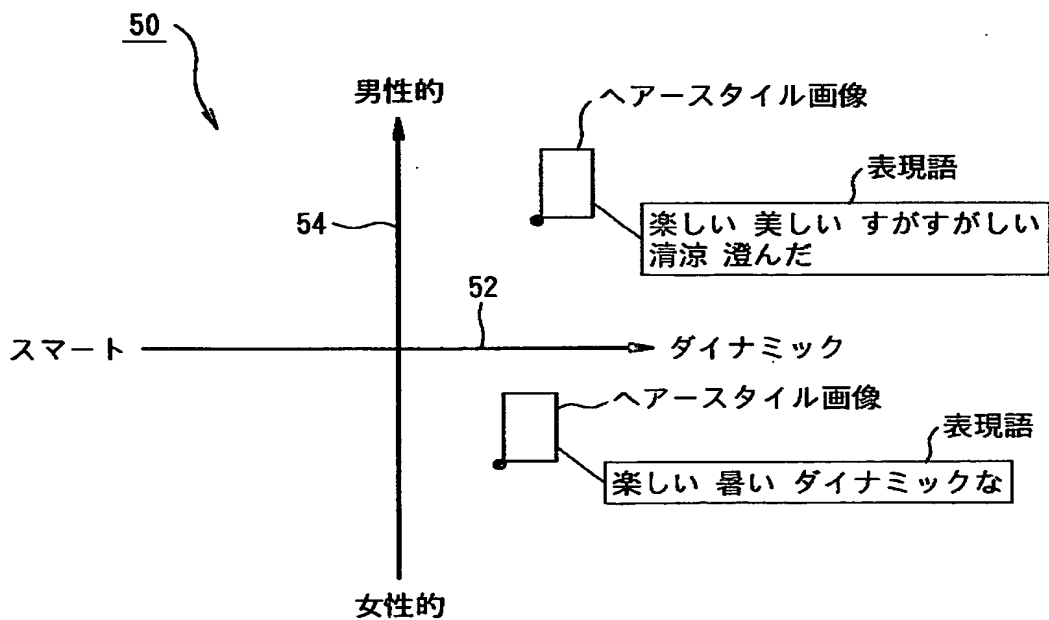


【図 3】

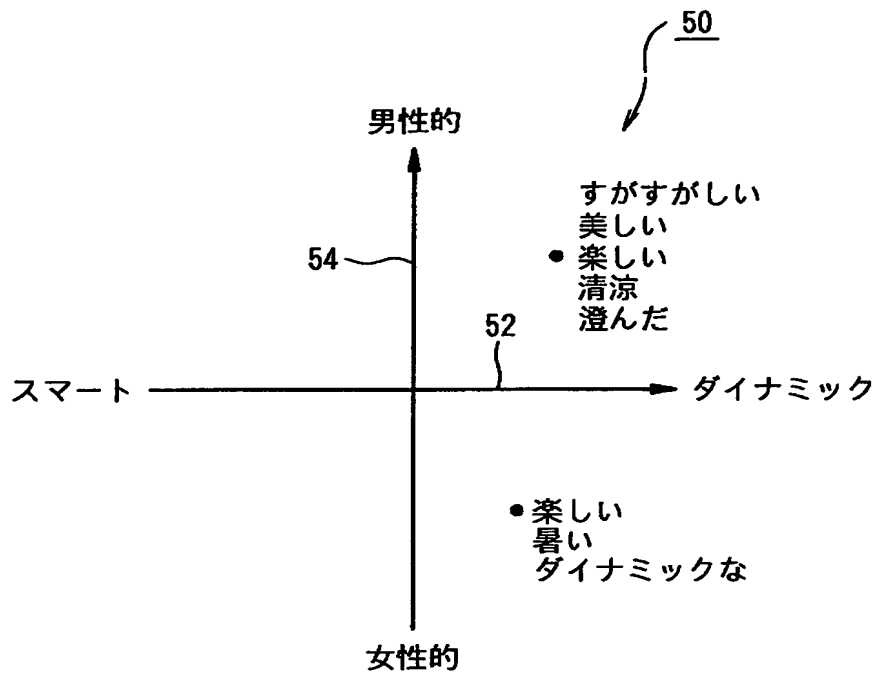
60 表現語マップ

52 表現語	54 仮想空間上の座標
さっぱりした	(0.75, 0.85)
すがすがしい	(0.75, 0.80)
清潔な	(0.75, 0.75)
滑らかな	(0.75, 0.70)
クリアな	(0.85, 0.65)
さわやかな	(0.70, 0.60)
すっきりした	(0.70, 0.60)
軽快な	(0.65, 0.50)
≈ ⋮ ≈	≈ ⋮ ≈

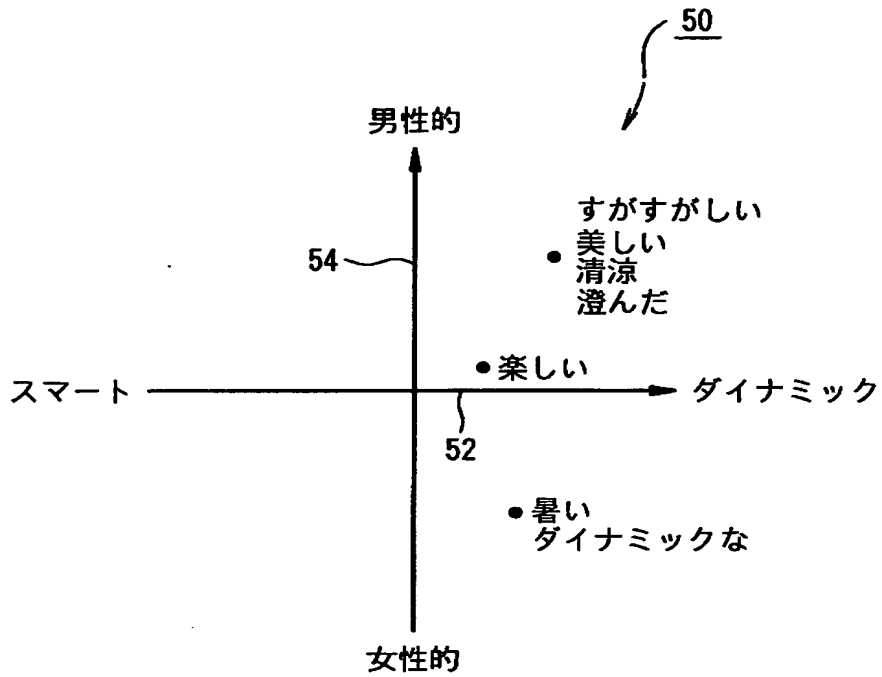
【図 4】



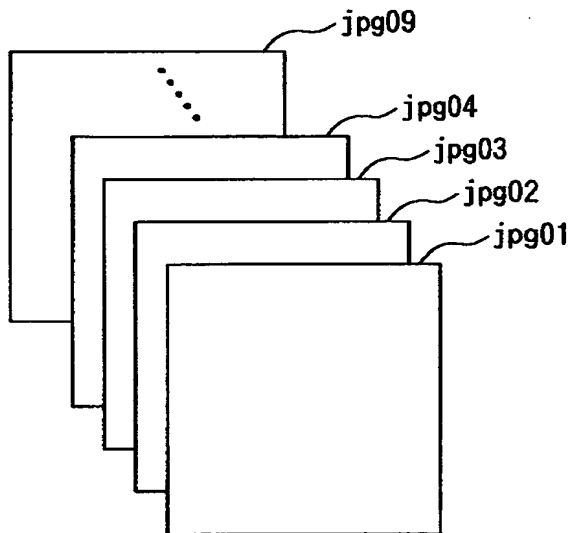
【図 5】



【図6】



【図7】



【図 8】

70 記述文書テーブル

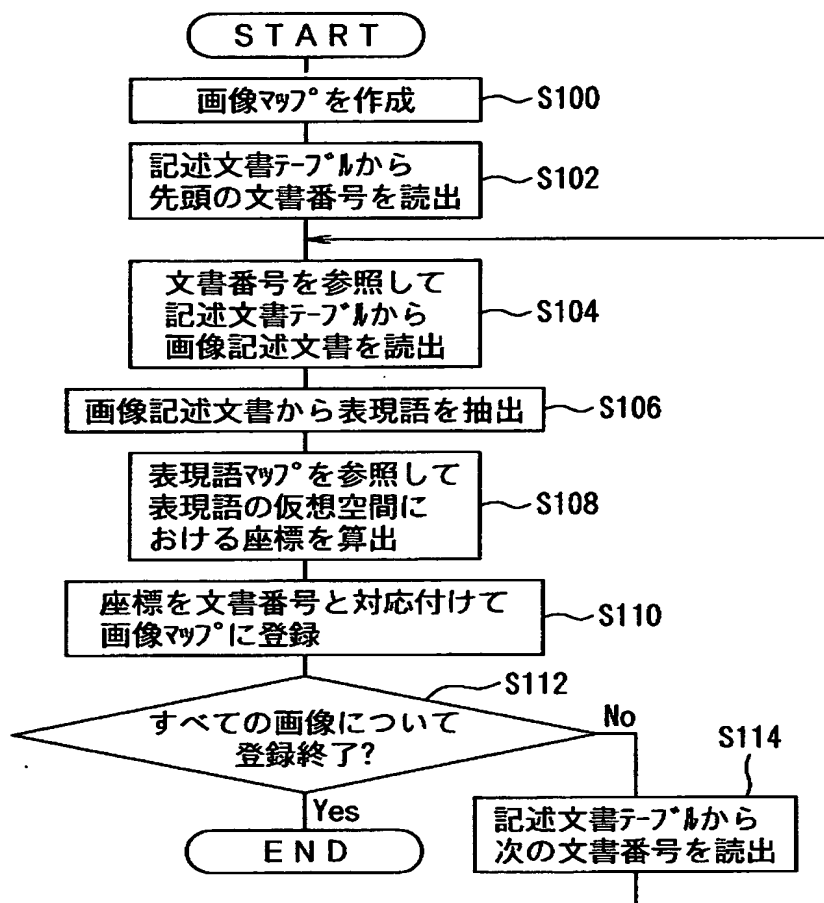
72	74	
文書番号	画像記述文書	
(1)	さっぱりしていて、軽快な	
(2)	ドライな質感	
(3)	ふわふわ空気感	
(4)	しっとりとした	
(5)	さわやかでキュル	
(6)	ワイルド	
(7)	不揃いなラインがシャープでカッコいい	
(8)	クラシカルな品のよさ	
(9)	キルトでふわふわ	
≈ ∴ ≈	≈ ∴ ≈	≈

【図 9】

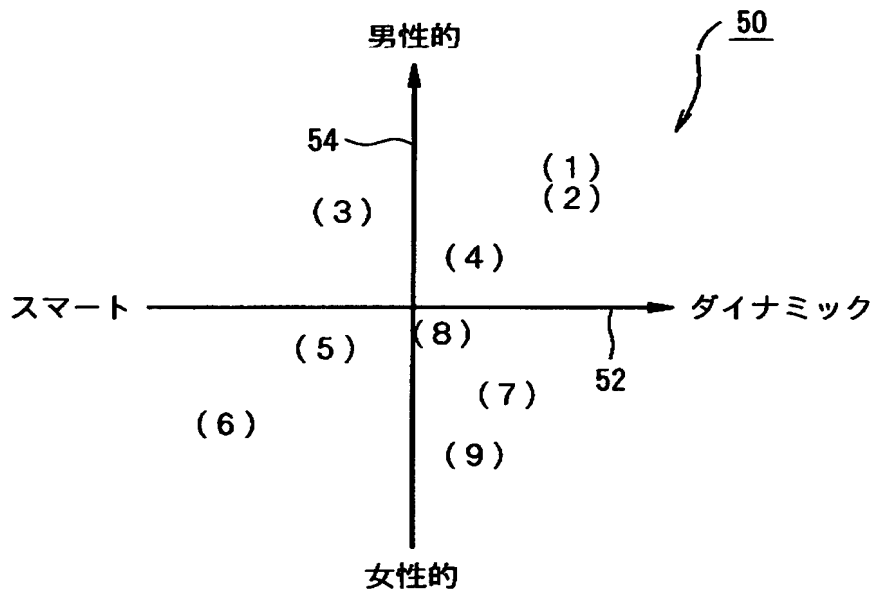
75 画像対応テーブル

76 ファイル名	76 文書番号
jpg01	(1)
jpg02	(2)
jpg03	(3)
jpg04	(4)
jpg05	(5)
jpg06	(6)
jpg07	(7)
jpg08	(8)
jpg09	(9)
≈ ⋮ ≈	≈ ⋮ ≈

【図 1 0】



【図 1 1】

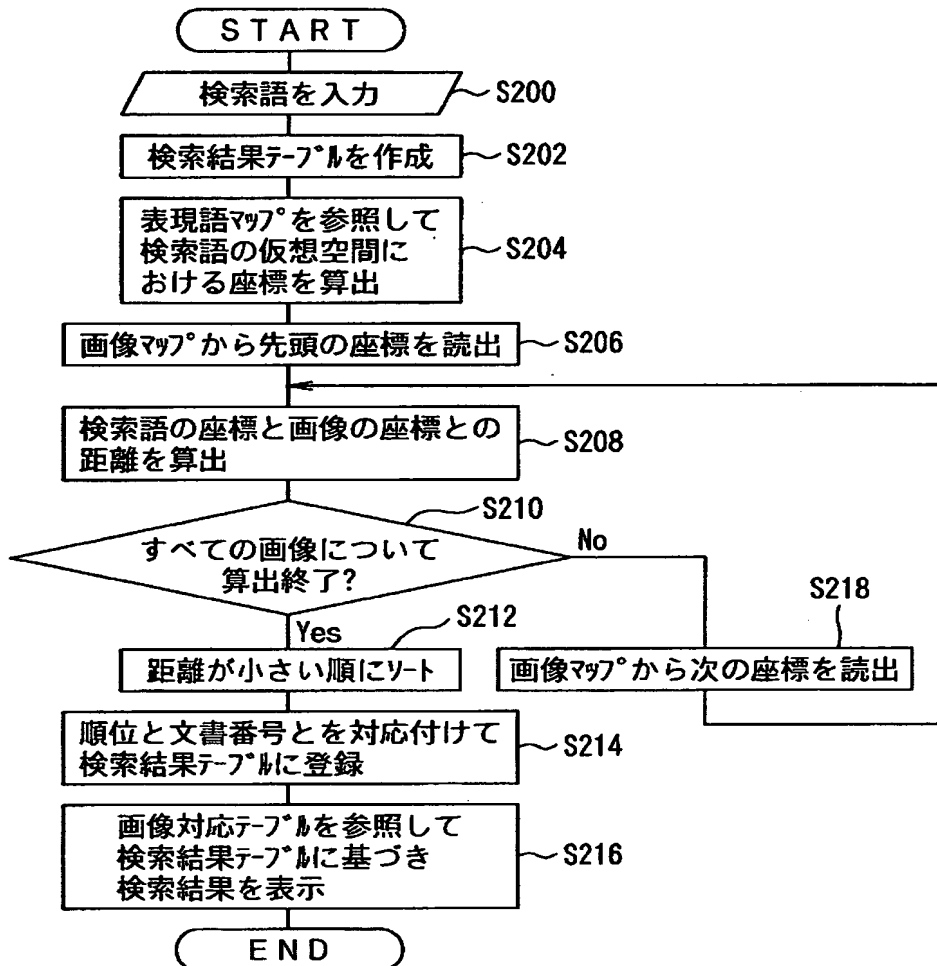


【図 1 2】

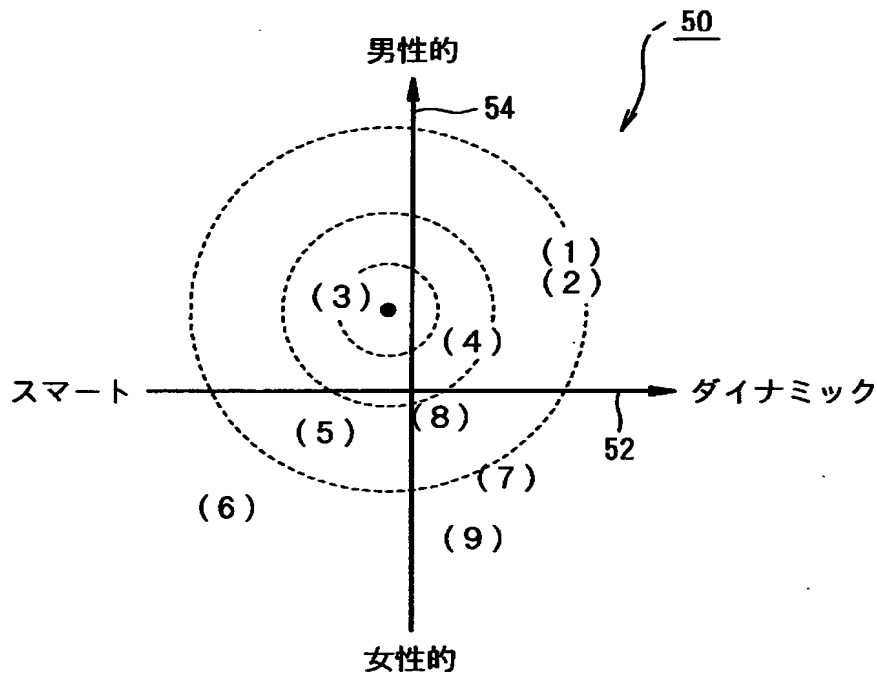
80 画像マップ

文書番号	仮想空間上の座標
(1)	(0.7, 0.675)
(2)	.
(3)	.
(4)	(0.7, 0.6)
(5)	.
(6)	.
(7)	.
(8)	.
(9)	.
⋮	⋮

【図13】



【図14】



【図15】

90 検索結果テーブル

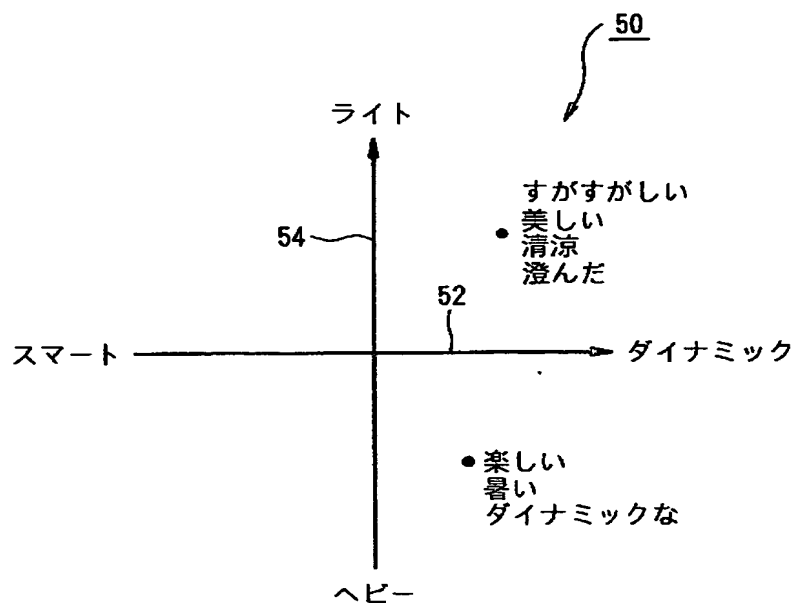
92 関連度の順位	94 文書番号
1位	(3)
2位	(4)
3位	(8)
4位	(5)
5位	(2)
⋮	⋮

【図 16】

75 画像対応テーブル

76 ファイル名	78 画像記述文書
jpg01	さっぱりしていて、軽快な
jpg02	ドライな質感
jpg03	ふわふわ空気感
jpg04	しっとりとした
jpg05	さわやかでナチュラル
jpg06	ワイルド
jpg07	不揃いなラインがシャープでカッコいい
jpg08	クラシックな品のよさ
jpg09	キュートでふわふわ
≈ ⋮ ≈	≈ ⋮ ≈

【図 17】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 手間や時間の面で有利に、検索対象のイメージ検索を行うのに好適な検索装置を提供する。

【解決手段】 複数の表現語をそれらイメージの関連度に応じて仮想空間 5 0 上に配置した表現語マップ 6 0 を記憶し、各ヘアースタイル画像 jpg01～jpg09 を表現語と対応付けて記憶しておく。画像マップ 8 0 を生成する場合は、表現語マップ 6 0 を参照して、各ヘアースタイル画像 jpg01～jpg09 に対応する表現語の仮想空間 5 0 における座標を算出し、算出した座標に基づいて各ヘアースタイル画像 jpg01～jpg09 を仮想空間 5 0 上に配置した画像マップ 8 0 を生成する。与えられた検索語をもとに、ヘアースタイル画像のイメージ検索を行う場合は、表現語マップ 6 0 を参照して検索語の仮想空間 5 0 における座標を算出し、画像マップ 8 0 を参照して、算出した座標に基づき複数のヘアースタイル画像のなかから検索語のイメージに適合するイメージのヘアースタイル画像を索出する。

【選択図】 図 1 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
氏 名 セイコーエプソン株式会社